

「逃げ遅れゼロ」を目指し、大規模氾濫への備えを促進!

【平成30年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会 首長会議 (大阪) を開催】

平成30年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会
大阪府域 首長会議

～水防災意識社会再構築に向けた取組みの「中間フォローアップ」～
～記録的な出水となった平成29年台風21号を踏まえ「重点5項目」～



「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく減災に係る取組方針(平成28年8月策定)において、今年度は「水ビジョン」の中間年度になることから、これまでの取組実績や後半の取組予定などを各市町から発表していただき、貴重な情報交換の場となりました。

また、記録的な出水となった平成29年10月台風21号を踏まえ、今後の大規模氾濫への備えとして「重点5項目」を共有し、取組みの促進強化を図ることを確認しました。

継続的なフォローアップと取組施策の重点化による促進強化により、水防災意識社会を再構築し大規模氾濫に備えます。

各市町から発表された主な取組内容

○ハザードマップ周知の工夫

- ・「全国初」となる防災タウンページへのハザードマップ掲載

○広域避難の協定締結

- ・隣接市にある大学施設を一時避難地とした住民目線の拡充

○要配慮者利用施設の避難確保計画作成を促進

- ・独自に「避難確保計画作成の手引き」を作成し、説明会を実施

○多機関連携型タイムライン作成に向けた検討

- ・多くの関係機関を交え大規模外水氾濫を想定した検討

○まるごとまちごとハザードマップの設置

- ・避難誘導標識を設置 ・駅施設へ想定浸水位の標識を設置

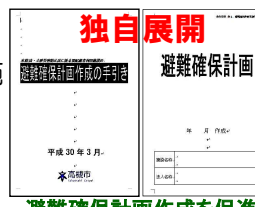
○大規模災害を想定した避難所開設訓練の実施

- ・小学生も参加した避難所開設及び運営訓練の実施



ハザードマップ周知の工夫

広域避難の協定締結



避難確保計画作成を促進



多機関連携タイムラインの検討



まるごとまちごとHMの設置



避難所解説訓練の実施

台風21号を踏まえた大規模氾濫への備え(重点5項目)

- ① 危機管理型水位計の設置
- ② 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ③ 防災教育の促進
- ④ 多機関連携型タイムラインの展開
- ⑤ 水防講習会の開催

◆開催概要

開催日時：平成30年5月31日(木)
15:00～16:30
開催場所：大阪府立国際会議場 1009会議室
参加者数：20機関から39名が出席

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 調査課
〒573-1191枚方市新町2-2-10
TEL 072-843-2861

